

1 日時

平成31年3月22日（金）午前10：30分～正午

2 場所

アーバネックス御池ビル 西館4階

3 主な内容

(1) 開会挨拶（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長）

(2) 部会長挨拶及び講話

(3) 議事（進行：部会長）

議事1 京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」に基づく取組について

① 平成30年度の取組状況について

● 事務局

資料4-1及び4-2に基づいて説明

○ 構成団体等

平成30年度から京都市後期高齢者歯科健康診査「75歳お口の健診」事業が開始されたことは非常に意義があると考えている。健診内容についても、かなり検討され、口腔機能検査を2項目設定するなど、府下の先行実施の市町よりも一歩踏みこんだ形となったのではないかと。府下でこれから実施を検討する市町の目指す基準となると考えている。

② 平成31年度の取組状況について

● 事務局

資料4-1及び資料4-3に基づいて説明

○ 構成団体等

地域で高齢期のフレイル予防に関する取組に携わっていると、地域の高齢者から「口腔機能の重要性をもっと早く知りたかった」という声をよく聞く。高齢期よりもっと早い時期である中年期・壮年期での口腔機能に関する意識の啓発が重要ではないか。

○ 構成団体等

地域介護予防推進センターでの新たな取組はよい。ぜひ進めていただきたい。ただ、地域介護予防推進センターを利用している方は、もともと健康などに関する意識が高い方が多い。そういった意識の高くない方の意識をどう高めていくかということが本当は必要ではないか。特定保健指導に携わる中で、特定健診の受診者、いわゆる働きざかりの世代へどうアプローチしていくのか、今後、具体的な検討が必要である。

○ 構成団体等

当団体では、保育士による食育委員会を立ち上げている。食育についての意識は高いと感じるが、口腔分野に関する意識は高いとはいえない。フレイルなどの口腔機能に関するものはまだまだである。今後、保育士の意識を高めるためにもキャリアアップ研修などの研修会に口腔分野を組み込んでいければよい。行政や関係団体とも連携していきたい。

○ 構成団体等

最近、口がぽかんと開いているお子さんが増えていると感じる。唇など、口を閉じる力が鍛えられていない。保育園などでも口腔機能を健やかに育てることへの意識は重要である。

○ 構成団体等

今回の報告で、京都市は歯科口腔保健分野において様々な良い取組を実施していることを知った。ただ、果たして市民が広く知っているのか、非常に疑問である。啓発や周知の方法は課題である。例えば、乳幼児に関しては乳幼児向けのテレビ番組で啓発テロップを流す。青年期については、SNSを活用し、特典をつけるなどの工夫が必要である。中年期・高齢期については従来通り、ポスターや市民しんぶんなどの啓発を行うなど、各年代に応じて周知等の方法を変えることを検討してはどうか。

○ 構成団体等

「食育」は、「何を食べるか」ということが中心になっている。多くの場合、あまり食育の取組には含まれていないと思うが、「どう食べるか」もとても大切である。口の機能を育てることも食育の一環である。

食べ方を知らないお子さんも増えている。口の機能を育てるといった観点からも保育園等の保護者・職員向けマニュアルを是非とも作成し、乳幼児期の歯と口の健康づくりや食育に関する啓発内容を充実させてほしい。

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」は、マイナス1歳の胎児期から、生涯を通じてということ意識して作成されている。疾患になる前からの予防、さらにもっと前の最初から健やかに育てる、ということ支援してほしい。

大学生についても、大学のまち・京都を謳っている京都市であるからこそ、「京都の学生でよかった」と思ってもらえるように取組を進めてほしい。

○ 構成団体等

市内では約600件の薬局がある。市民の健康・医療面で、かかりつけ薬局も重要な役割を果たしている。平成30年度から、薬局に来られた方の中で、糖尿病の方で未受診や治療中断などの可能性が伺える方に対して受診勧奨をするなどの取組を始めている。薬局に来られた方に、歯科受診を勧めることもできると思うので、ぜひ検討していきたい。

○ 構成団体等

本日の資料では、義歯や補綴物等に関する記載がほとんど見られない。高齢者では、お口のなかに補綴物のない方はほとんどいないと思う。口の健康の話をするならば、口の中の技

工物についてもっと関心をもってもらいたい。特に高齢者の口腔内での補綴物のあり方についての知識の普及などを、今後検討してほしい。

○ 構成団体等

地域介護予防推進センターでは、他のプログラムに比べて、口腔機能向上プログラムの実施回数が少ない。プログラム回数の増加や地域差の解消にも取り組んでほしい。

議事2 市民の健康づくりに関する目標の設定、リーフレット等の作成について

● 事務局

資料5に基づいて説明

○ 構成団体等

漫画でわかりやすく表現する案は良いと思う。文字はできる限り少なめにした方がよいのではないか。

○ 構成団体等

リーフレット案の“楽しむ”のところについて、登場人物を高齢者として設定しているが、働きさがりの世代などが楽しむことも重要なのではないか。“しっかりやすむ”のところは、睡眠について言及しているが、やすむということは睡眠をとることだけではない。

(4) 閉会挨拶（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 保健担当部長）